

野川台自治会

あいさつ運動の輪

発行：野川台自治会
 発行者：野川台自治会長
 川崎市宮前区
 TEL.
 協力：西野川小・野川中PTA、野川小、南野川小、
 野川町内会、西園地自治会、野川南台自治会、
 おやじの会、すずの会、一葉会、青少年指導員、
 地区民児協、地区社協、野川こ文ほか
 編集：福祉の風土づくりを進める会事務局
 代表



家庭・学校・地域のさらなる連携をめざして



あいさつ運動を始めてから13年目、子どもたちの思いに応えて「あいさつの輪」、
 さりげない「お節介の輪」の拡がりを通じて、信頼と支え合う“絆”づくりを皆さんの手で！

「気持ちの良いあいさつを」

西野川小学校 校長 小野瀬 三智子

私は朝会で何度か子どもたちにあいさつの話をして
 います。一度目は「あいさつは、め・え・え」の話でした。
 「めは目を見て、えは笑顔で、会釈して、があいさつの
 基本です。」と伝えました。みんなきちんと目を見て、にっ
 こり笑ってあいさつができるようになりました。そこで
 さらに良いあいさつにするようには？と考えました。

11月の朝会では「朝、私が何に気を付けてあいさつ
 をしているか」というと、相手よりも先にあいさつをし
 ようと心がけることです。」と話しました。すると、
 次の日から正門で待っていると、私が声をかける前に
 「校長先生おはようございます」とあいさつする子が
 増えました。一人が始めると周りの子にもどんどん広
 がっていきます。

寒い季節、外は寒いですが、子どもたちの元気な声
 が聞きたくて、みんなの笑顔が見たくて、待っています。
 気持ちの良いあいさつが増えることを願っています。



おはようございます！

地域清掃を終えて

野川中学校 生徒指導担当 井上 教夫

野川中学校区 地域教育会議の地域フォーラム委員
 会では毎年11月～12月に権六坂の落ち葉清掃を行って
 います。今年度は12月1日(土)の10:00～11:30に野川
 中学校の生徒約100名、教職員15名、地
 域の方々24名で実施
 いたしました。

活動前は、枯れ葉
 の多さにびっくりし
 てしまいますが、み



中学生「枯れ葉の多さにびっくり」

るみるうちに90%のビニール袋が歩道に置かれていま
 しました。ビニール袋は野川中学校の通用門に運ばれ、
 山積みになり、数えてみると100袋を越えていました。
 翌日には、歩道にまた枯れ葉の山が出来ていましたが、
 地域貢献が出来たという達成感が生徒の笑顔から感じ
 取ることができました。



勇壮な西野川「どんど焼」(西野川小おやじの会)

「言葉は人をつなぐ」

宮前区長 小田嶋 満

「言葉は人をつなぐ」——かつて国語の教師だった私が、
 いつも大切にしていた言葉です。音声としての言葉は、
 話されてしまえば消えてしましますが、その言葉に込め
 られた思いは、あるときは人を勇気づけ人に自信を与え、
 またあるときは人を傷つけ人の心を閉ざしてしまいます。
 そして、話し言葉は消えてしまうだけにその言葉の重さ
 が意識されないで使われることもしばしばです。誰しも
 人の言葉に傷ついたり、また逆に励まされたりしたことが
 あるように、言葉は重みを持ち、言葉は人の心にプラス
 にもマイナスにも作用します。

「おはようございます」「さようなら」の挨拶も、「人
 をつなぐ」素晴らしい言葉です。毎日の何気ない挨拶か
 ら生まれる「人とのつながり」は、共に支え合う学級や
 学校、また地域づくりのための大切な下地になっていく
 ことと思います。

そんな素敵な挨拶が続
 いている野川地域が、さ
 らに温かく思いやりのあ
 ふれる地域になっていくこ
 とを心より願っています。



心が和む第4公園の花壇



支え合う地域コミュニティづくりを

—— あいさつは、気づき、見守りのはじめ ——



うるおいのある公園づくりをめざして

野川台には、6つの公園があります。高齢者の体操の場としても親しまれるエリア、近隣の保育園・幼稚園児等の遊び場、そしてベビーカーが集まってくる昼下がりの公園等として、それぞれ親しまれています。

“子どもたちと地域の人と一緒に”に公園清掃！

12月16日は、事前に会員に周知された「各公園協議会と自治会」の定例公園美化清掃の日です。

以前から、西野川小学校でも、長年地域清掃に取り組んでいて、2年くらい前から、子どもたちの「地域の人と一緒に公園清掃をしたい！」という声が上がっておりました。そこで野川台自治会として、急遽、その気持ちを大事にすべく10日と11日の平日に、子どもたちと自治会役員との合同ミニブレ清掃活動の位置づけで公園清掃を実施することになりました。

両日とも、子どもたちは下級生と上級生がペアになって、自治会役員（延べ15名）と落ち葉集めとゴミ拾いを、熱心に約45分間行い、大きなごみ袋に詰めました。そして「地域の人とみんなで一緒にやれて、すごく気持ちがよかった！」（6年生）、「服の中に落ち葉が入って、ちくちくして大変だったけれど楽しかったよ！」（2年生）などの声が聞かれ、楽しい野外授業となったことが何え、校長先生からも感謝のお言葉を頂きました。

定例の美化清掃で196袋の落ち葉等を収集！

次の週の12月16日の定例美化清掃では、120余名の自治会員が参加し、6つの公園で196袋の落ち葉等が収集されました。お陰様で見違えるように奇麗になりました。来年は、子どもたちの参加を含め、もっと多くのかたの参加が期待されます。



“子どもたちも一緒に”



“集められた落葉の山”

宮前警察署との合同防犯パトロール実施

野川台自治会は、平成24年から、毎年「県安全安心まちづくり旬間」に合わせ、宮前警察署、区役所の指導の下に、自治会、西野川小学校PTA、野川中、子ども文化センター等の約40名が、二班に分かれてパトロールを実施。



こどもも参加したパトロール

親子で楽しむ「おはなしの会」開催！

11月10日、野川小学校体育館で恒例の「おはなしの会」が地区社協主催で開催。今年は、特に地元出身のマジシャン佐々木さんをお招きし“子どもも参加し、楽しめるマジックショー”を披露。そして劇団民芸の俳優さん、山梨、船坂、石巻、藤巻さんの4名をゲストに、「ねずみのすもう」などの童話とむかしばなしの素晴らしい朗読を美しい舞台背景のもとにしていただき、多くの親子連れの楽しい一日になりました。



劇団民芸の“すばらしい朗読”

あいさつ=思いやりの気持ち

野川小学校 教頭 秋山 直子

あいさつには不思議な力があります。少し寝不足の朝も、子どもたちから「おはようございます。」と声をかけられると、頭がすっきりします。給食のあと、「おいしかったなあ」という表情で「ごちそうさまでした。」と手を合わせている子どもたちを見ると、心がほっこりします。

あいさつが不思議な力をもっているのは、相手に対する思いやりが根底にあるからだと思います。「いってらっしゃい」には、「気をつけてね。一日がんばってね。」「おやすみ」には、「お疲れ様、ゆっくり休んでね。」など。思いはそれぞれ違っても、あいさつの言葉からは温もりを感じます。だからこそ、あいさつをすると元気がわいてくるのでしょう。

これからも、保護者の方々や地域の皆様と一緒に、明るい笑顔で、相手の顔を見てあいさつをすることで、思いやりの輪も広がっていきたいと思います。



野川小学校の朝のあいさつ運動



あいさつは 心と心を つなぐ糸

—— ひとことでみんなの顔に花が咲く ——



野川を笑顔あふれる地域に！

— 野川地域の三つの小学校の児童の声 —

西野川小学校

✿ 私はもともと人とたくさん話すことが苦手です。ですが、あいさつをするようになってから、どんどん友達となじめるようになって、友達とたくさん話ができるようになりました。あいさつができるようになってから、遊びに行くこともふえて、たくさんことができました。私はあいさつの力で人が変わるのだと思いました。

(4年 高野 莉花)



野川小学校

✿ 私はあいさつが大好きです。あいさつをすると、目の前が明るく輝きます。あいさつを交わすと、鏡のようにあいさつをした人同士が嬉しい気持ちになります。私は、あいさつをするたび一日のスタートを気持ちよくきれるので、これからも日々のあいさつを続けて、明るい未来につなげていきたいです。

(6年 高橋 愛莉)



南野川小学校

✿ あいさつ運動をしてみて、夏は暑く、冬は寒くて少し大変な日もありました。前期はやる気がなくて、元気にあいさつ運動をしていなかったのか、反応が少なかったのですが、後期はがんばってみようと、思いきって元気にあいさつをすると、反応が少しずつ増えてうれしかったです。これからも、がんばります。

(5年 市原 弥桜)



なあいさつに、いつも励まされながら一日をスタートさせています。

地域の方々をはじめ、保護者、教職員、そして児童が一体となって取り組んでいる「あいさつ運動」の効果には、素晴らしいものがあります。校長室の扉にある標語「あいさつで 笑顔あふれる 南野川っ子」が今後もたくさん増えることを期待しています。



南野川小学校の朝のあいさつ運動

澄み切った青空のもと地区別運動会！

10月の澄み切った青空のもと、野川小学校校庭で野川地域の小学校三校（野川小、西野川小、南野川小）の6年生全員（約250名）が参加した恒例の「地区別運動会」が開催されました。テレビでお馴染みの長縄10人連続縄跳びや玉入れ、圧巻のリレー、そして最後に「長縄8の字跳び」でフィナーレを迎えました。

とりわけ“せいの”の掛け声で入る運動会の締めめの「長縄8の字跳び」は、子どもたちの団結心や人間関係づくりにも役立つと言われて、クラスによっては、自主的に夏休み前から練習を重ねているところもあると伺っております。そして、チームのなかには、なんと4分間に跳ぶ回数が、600回を超えるチームもあり、ここぞという時の集中力の成果がいかに発揮されていることが伺えました。

秋空の昼下がりに、三校の子どもたちが、お互いにたたえ合いながら、心をつにつした素晴らしい地区別運動会でした。（事務局）



野川小チームの「8の字跳び」



南野川小チームの玉入れ



西野川小チームの玉入れ

心あたたま一言

南野川小学校 校長 野村 智

冬休みに入る前日、門のところで低学年の子どもたちの下校を見守っていたときの事です。普段のあいさつ「さようなら」に加えて、「校長先生、よいお年を」という言葉をかけてくれる子が何人もいました。うれしい気持ちになると同時に、寒い日でしたが、心がホカホカするすてきな一言でした。

あいさつは「相手のことを大切に思っている」、「認めている」という気持ちの表れです。明るく元気なあいさつは、相手との関係をよくして、一日を気持ちよく過ごすことができます。私は朝の子どもたちの元気

学校と地域のつながり

学校・地域のイベントや児童・生徒の活躍は地域の誇り

(文責は編集事務局)

“ドキドキ” 中学校体験授業!

1月17、18日に野川中学校区の小学6年生を対象に中学校の体験授業と部活動が行われました。

小学生は前もってどの教科を受けたいか希望を出して、当日は生徒会サミットの生徒が各教科を担当して、説明や教室までの誘導、授業のサポートをしてくれました。

中学校の教室は机も大きく、見事な書き初めが掲示してあり、雰囲気もまるで違います。先生方は楽しいテーマを用意して、中学校の学習に興味をもって取り組める授業をしてくださっていました。緊張していた六年生も笑顔で授業を受けていました。授業後は部活動体験です。中学生と一緒に校庭や体育館、教室で活動しました。

4月には制服を着て通う中学校の印象はどうだったでしょうか。新しい友達、先生方とのスタートはもうすぐです。



体験授業 “楽しい実験”

赤い羽根募金活動に参加して!

去年は、地震や台風の直撃や記録的な猛暑に見舞われました。その年の世相を表す漢字として“災”が選ばれました。

そうした中で、10月1日から恒例の「赤い羽根共同募金」が始まり、野川地域では、FUJIスーパーとオーケースタアのご協力を得て、お店の前等で募金活動を実施。野川中学校の生徒会を中心としたメンバー約20名が地区社協や民生委員の方と一緒に募金活動に協力してくださいました。

「赤い羽根共同募金にご協力をお願いします!」の声に買い物客やご近所を散歩している方が、生徒の気持ちに添えて、多くの方が協力されていました。その中でもお母さんと一緒にお店に来たお子さんも協力してくださる姿も見られ、親の一寸した心づかいみたいなものが、子どもの募金箱に入れるしぐさにも表れたように見え、自分たちも、なんとなく温かい気持ちになったとの生徒の声が印象的でした。

(顧問 岩崎先生)



ありがとうございます!

“二つの賞” 受賞おめでとう!

昨秋、向丘中学校で行われた川崎市連合文化祭に演劇部18名が参加しました。

演目は「ブリッコ狂騒曲」です。見事川崎市代表に選ばれました。12月8、9日に横浜で行われた県の発表会では、「神奈川県中文連会長賞」と、「県立青少年センター館長賞」の2賞を受賞しました。部員同士で演出や、舞台装置についても意見を出し合い、作り上げた演劇が高い評価を受けました。

県の発表会では、広いホールや本格的な舞台での照明や演出技術に触れることができ、とても勉強になりました。

毎日の部活動では、全員で発声練習や体幹トレーニングも取り入れて、演劇の基礎を鍛えています。演劇部一丸となって高い目標に向かって練習しています。

(顧問 小西智子、津田真寿美先生)



熱演「ブリッコ狂騒曲」

県大会進出で大活躍の卓球部!

野川中卓球部は、運動部の中でも一番部員数が多い部です。一年生24名、二年生30名、三年生16名の計70名で活動しています。日々練習を重ねて自主練習も行い、力をつけてきました。

川崎市の新入戦では、男子団体戦で見事準優勝を収めました。

県大会では、三回戦で麻溝台中に負けてしまいましたが、上位進出の手応えを感じたと思います。

球技は小さい頃から練習をはじめて、力をつけていくことが多いのですが、野川中卓球部は全員中学から卓球をはじめて、県大会にも出場する実力をつけてきました。

今年も更なる高みを目指して、練習を重ねている卓球部の活躍に期待しています。

(顧問 吉田昂生、池田敏幸、吉田晃先生)



勢ぞろい

編集後記

あいさつ運動を始めましてから、地域の皆様のお力添えを得て12年にもなります。昨今のお互いさまの間柄づくりの大切さが言われている中で、小・中学校の児童・生徒さんも地域の清掃等にも係ってくださいまして、本当に有難いことと思っています。また本紙作成に際し、長年、宮前区まちづくり協議会からご支援を頂いていますことに改めて感謝申し上げます。(原、高尾、櫻井、前之園、辻本)